

=奥州市からのお知らせ=

今後予定している絆交流事業についてお知らせします。

■問い合わせ・申込先=絆交流事業支援隊（江刺総合支所産業振興課内・内線214）

●被災地支援 お買い物ツアー（胆沢号）

【期日】 10月18日
 【集合時間・場所】
 8:15 胆沢総合支所
 8:45 みずさわ観光物産センター
 9:15 江刺総合支所
 【訪問先】 おおふなと夢商店街、大船渡屋台村、おさかなセンター、五葉温泉
 【参加条件】 当日のみ利用可能なお買い物チケット3,000円以上購入
 【募集人員】 30人
 【申込期限】 10月4日
 【その他】 11月28日には衣川号を運行する予定

●被災地支援 さんままつりツアー

【期日】 10月21日
 【集合時間・場所】 8:45 市役所本庁
 【訪問先】 大船渡さんままつり会場
 【参加条件】 大船渡市内で3,000円以上のお買い物
 【募集人員】 40人
 【申込期限】 10月11日

=大船渡市からのお知らせ=

日本を代表するクルーズ客船が大船渡港（野々田ふ頭）に入港します。沿岸被災地の復興支援も兼ねて、この機会に足を運んでみませんか。

■問い合わせ=大船渡市港湾経済課 ☎0192-27-3111（内線116）

●客船「ふじ丸」入港

【日時】 9月26日
 9:00入港・16:00出港

●客船「飛鳥Ⅱ」入港

【日時】 10月6日 8:00入港
 7日 11:00出港



札幌からこのプロジェクトに参加している義島和憲さんと坂口恵美さん

大船渡夏まつりが行われた8月4日、「おおふなと夢商店街」には多くの露店が並んでいました。その中でがれきを加工した色鮮やかなキーホルダーに目が留まりました。

1個600円の「ガレキーホルダー」は、震災を忘れないために、そして1日も早い復興を願って震災がれきから作られたもの。陸前高田市を拠点に被災者の手で作られており、被災地に雇用を生み出すプロジェクトだということです。奥州市でも唯一取り扱っている店があります。それが、前沢区にあるカフェ・ブローチ。沿岸と内陸との絆をここで感じました。些細なことでも、自分の形での被災地の復興に貢献できるかもしれません。

interview



カフェ・ブローチ 酒井ゆり子さん

店で行っているウクレレ教室がきっかけで、このガレキーホルダーを知りました。沿岸被災地に少しでも支援できると思い、販売することに。被災地に「ちいさなしあわせ」が届けばと思います。



気仙大工左官伝承館では復興への願いを込めた「希望の灯り」がともされています



りべ・武蔵裕子さんは言いました。「被災地の現状を見てください。最初は興味本位でもかまいません。なぜなら、私たちに津波の恐ろしさを伝える義務があるからです」と。

東日本大震災の津波の経験から、私たちが学ぶべきことはたくさんあります。被災者の声に耳を傾けてください。

そして、その気持ちを分かち合いたしよ。そこから結びつきが強まり、かけがえのない「絆」が生まれるのです。それぞれができる範囲の行動で構いません。一人一人の力は弱く小さくても、その積み重ねが強く大きな「絆」となるのですから。そしてその「絆」は、私たちの未来へ希望を与えてくれるのです。

大船渡で出会った小さな絆 「ガレキーホルダー」

1個600円の「ガレキーホルダー」は、震災を忘れないために、そして1日も早い復興を願って震災がれきから作られたもの。



1 7月1日にホーププラザ奥州を開設
 2 ホーププラザは主に被災者の交流の場として活用されている
 3 7月31日に沿岸被災者を前沢区の協働農場に招き収穫祭を開催
 4 協働農場で野菜の栽培を行う沿岸被災者
 5 まちなか交流館で8月12日に開催した復興支援ふれあいコンサート in 水沢

これからの被災地復興支援

がれきの片付けも進み、沿岸被災地は一歩ずつ前に進んでいます。しかし、津波の傷跡はいまだに残されたまま。震災以前の姿を取り戻すには、

まだまだ時間がかかります。被災地が自立して未来に歩みを進めるために、私たちに何ができるのでしょうか。気仙大工左官伝承館のかた

昨年引き続き2回目となる同イベント。初日は、グループに分かれてテント設置や夕食準備、キャンプファイアで交流し、2日目は田んぼでの運動会「ドロンコまつり」を楽しみました。

このイベントには、胆江地区の小学生30人、沿岸地区の小学生20人が参加。運営には

同会議所の約30人の他、県立産業技術短期大学校や水沢第一高等学校の生徒ら16人もリーダーとして活動をサポートしました。

大船渡市立盛小学校5年の高橋涼さんは、「友達ができ楽しかった。また遊びに来たい」と声を弾ませていました。

復興支援 奥州 ネット

（ホーププラザ奥州）

被災者支援事業を展開する復興支援奥州ネット（大江昌嗣代表）は、「ホーププラザ奥州」を7月1日に開設しました。メイプル地下に設置したもので、市内に避難している被災者への情報提供や、交流の場として活用されています。

■問い合わせ 復興支援奥州ネット（ホーププラザ奥州 ☎8011）

小学生 交流イベント

（公社）水沢青年会議所



大船渡市から参加した小学生（左から2番目が高橋涼さん）